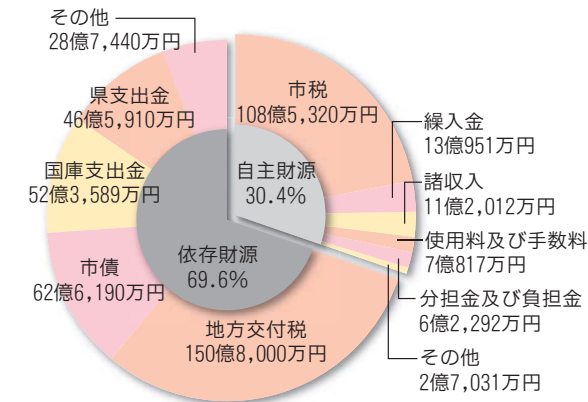


平成28年度一般会計予算 489億9,552万円

歳入



◆歳入予算額内訳 (単位:万円)

項目	予算額	構成比	増減率
自主財源			
市税	108億5,320	22.1%	△0.6%
市民税	42億5,045	8.7%	△2.9%
固定資産税	55億 916	11.2%	3.4%
軽自動車税	2億9,416	0.6%	12.3%
市たばこ税	6億7,664	1.4%	△0.4%
その他	1億2,279	0.2%	5.3%
繰入金	13億 951	2.7%	129.0%
諸収入	11億2,012	2.3%	△16.4%
使用料及び手数料	7億 817	1.4%	△7.6%
分担金及び負担金	6億2,292	1.3%	3.5%
その他	2億2,300	0.5%	1386.6%
寄附金	4,731	0.1%	△5.3%
財産収入			
小計	148億8,423	30.4%	4.3%
依存財源			
地方交付税	150億8,000	30.8%	△2.3%
市債	62億6,190	12.8%	44.0%
国庫支出金	52億3,589	10.7%	△2.6%
県支出金	46億5,910	9.5%	5.2%
地方消費税交付金	17億8,980	3.7%	13.8%
地方譲与税	8億3,060	1.7%	6.8%
自動車取得税交付金	1億 950	0.2%	△1.7%
配当割交付金	4,540	0.1%	182.0%
地方特例交付金	3,080	0.1%	8.5%
株式等譲渡所得割交付金	2,370	0.0%	207.8%
利子割交付金	1,560	0.0%	2.0%
ゴルフ場利用税交付金	1,450	0.0%	6.6%
交通安全対策特別交付金	1,450	0.0%	22.9%
小計	341億1,129	69.6%	6.2%
合計	489億9,552	100.0%	5.6%

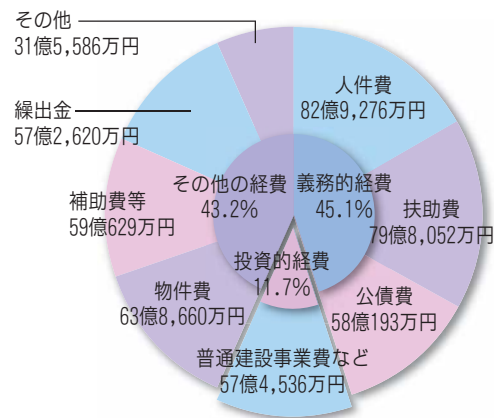
◆用語解説

自主財源…市に納められる税金や施設の使用料、住民票の交付手数料など
依存財源…市の財政力に応じて国から交付される地方交付税や国・県補助金、市債など
地方交付税…全ての市町村が一定水準の行政サービスを提供できるように、国税(所得税、酒税など)から配分されるお金
国庫支出金・県支出金…特定の事業の財源の一部として、国・県から支出されるお金
市債…公共施設の整備などのために、長期に借り入れるお金

歳出

◆歳出予算額内訳 (※性質別歳出) (単位:万円)

項目	予算額	構成比	増減率
義務的経費			
人件費	82億9,276	16.9%	5.2%
扶助費	79億8,052	16.3%	1.1%
公債費	58億 193	11.8%	△2.5%
元金	53億1,827	10.9%	△1.5%
利子	4億8,366	1.0%	△12.1%
小計	220億7,521	45.1%	1.6%
投資的経費			
普通建設事業費	57億4,336	11.7%	25.2%
災害復旧事業費	200	0.0%	0.0%
小計	57億4,536	11.7%	25.2%
その他の経費			
物件費	63億8,660	13.0%	△5.5%
補助費等	59億 629	12.1%	16.5%
繰出金	57億2,620	11.7%	2.6%
投資及び出資貸付金	15億7,994	3.2%	36.7%
維持補修費	10億 794	2.1%	△2.4%
積立金	5億2,798	1.1%	18.1%
予備費	4,000	0.1%	0.0%
小計	211億7,495	43.2%	5.4%
合計	489億9,552	100.0%	5.6%



◆用語解説

義務的経費…人件費など、支出することが制度的に義務付けられている経費
投資的経費…道路や学校など、将来に残るものに対する経費
その他の経費…上記二つ以外の経費で、物件費(賃金、委託料、物品の購入、施設の光熱費などの経費)や補助費等(事務組合・各種公益団体に対する負担金・補助金などの経費)など

※性質別歳出

歳出の分類方法は、目的別と性質別があります。前者は農林水産業費や教育費など目的ごとに分類したもので、後者は人件費や普通建設事業費、物件費など性質ごとに分類したものです。

平成28年度 当初予算のあらまし

3月市議会定例会で、平成28年度当初予算が審議・可決されました。本年度の一般会計予算は、平成18年に新市が誕生して以降、最大規模となる489億9552万円。前年度当初予算比で25億9345万円、5.6%増の積極型予算として編成しました。

まちづくりに向けた取り組み

本年度の予算は、まちづくり総合計画第1期中期プランで掲げた「人口減少対策」「市街地の再生」「交流人口の拡大」「防災力の強化」の四つの重点戦略を念頭に、各事業の緊急度、必要性を検討しながら、限られた財源の中で可能な限り事業化を図り編成しました(本年度の主要事業については、4、5ページに掲載)。

各種財源を最大限活用し編成

湯口・大迫中学校校舎改築、道

■歳入について

地域医療総合確保事業や国体

路や橋の整備など各種ハード事業をはじめ、第71回国民体育大会、宮沢賢治生誕120年記念事業などの各種イベント、地方創生に向けた事業費などを計上しています。これら事業の実施に当たっては、国・県補助金などの財源確保に努めるとともに、返還額の7割が国の地方交付税に算定される合併特例債や過疎対策事業債といった財政上有利な市債を最大限活用し編成しました。

■歳出について

湯口・大迫中学校の改築、イーハトーブ養育センターや(仮称)大迫学校給食センター、生活道路、介護施設等の整備などに要する費用を計上しています。また、臨時保育士などを任期付き職員としたことで、これまで短期的な賃金として物件費に分類していた分を、人件費として計上しています。そのほか、いわて国体の市実行委員会への負担金や国営土地改良事業償還金、市内企業への地域総合整備資金貸付など大幅な事業費の増額を見込んでいます。

※文中の用語「市債」「地方交付税」については、左ページで説明しています

■平成28年度各会計予算の総括表

区分	28年度予算額	27年度予算額	増減額	増減率	28年度末市債残高見込み	27年度末市債残高見込み	増減額
一般会計	489億9,552	464億 207	25億9,345	5.6	553億7,997	544億3,634	9億4,363
国民健康保険	108億4,774	113億3,265	△4億8,491	△4.3	—	—	—
特別 後期高齢者医療	18億9,861	19億1,447	△1,586	△0.8	—	—	—
特別 介護保険	101億9,319	98億7,968	3億1,351	3.2	—	—	—
会 公設地方卸売市場事業	7,086	1億4,547	△7,461	△51.3	1億5,082	1億8,252	△3,170
計 下水道事業(※)	—	40億5,424	△40億5,424	皆減	—	308億2,799	△308億2,799
農業集落排水等汚水処理事業	15億 835	16億1,156	△1億 321	△6.4	135億4,325	138億8,510	△3億4,185
公営企業会計(下水道事業)	52億2,916	—	52億2,916	皆増	302億7,063	—	302億7,063
合計	787億4,343	753億4,014	34億 329	4.5	993億4,467	993億3,195	1,272

※下水道事業はこれまで一般会計などと同じく、実際の現金の収支に対応して処理を行う「単式簿記」による経理方法でしたが、平成28年度から公営企業会計に変更し、一般の会社と同じように現金以外の収支や資産、負債の変動なども記録する「複式簿記」による経理を行います